

# 環境県民フォーラムだよ!り

VOL. 31 2013年3月30日 発行



## 第15回 奈良県環境フェアを開催します

～第10回 奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル～

近年、県民の環境への関心度は高くなりつつありますが、更なる環境の保全を図るためには、より一層の意識の醸成が必要です。そのため、広く県民へ地球温暖化をはじめとする環境全般に係る喫緊の課題等に関する情報を発信するとともに、奈良県内の多様な主体や県民が交流・連携を図るため、奈良県、奈良県環境県民フォーラム、奈良県地球温暖化防止活動推進センターが協力して、平成25年4月6日（土）7日（日）10時00分から奈良県文化会館（環境フェアは2F小ホール）において、「第15回奈良県環境フェア」を開催します。

今回は、「奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル」内での開催となります。会場では各団体・分科会の環境保全活動事例紹介やパネル展示、体験コーナーを行い、日常生活における環境保全活動を県民に広く啓発します。

### 奈良県の環境施策に係る基本指針等について（奈良県環境政策課）

#### 1. 目指す姿

美しい景観の創造と持続可能な循環型社会の構築により、本県の豊かな自然環境と優れた歴史環境を将来にわたって継承し、快適な環境を保全します。また、NPO、学校、事業所、自治会、県・市町村等が協働し、環境への配慮に加え、県民が和みを感じ、愛着と誇りを持つことのできる「美しく風格と和みのあるまちづくり」を目指します。

#### 2. 基本目標（重点施策）

- (1) 景観の保全と創造      (2) 清流の保存と復活      (3) 低炭素社会の実現
- (4) 循環型社会の構築      (5) 生物多様性の保全

#### 3. 施策の視点

- (1) 行動の価値判断に「環境」を優先
- (2) 環境への影響の未然防止
- (3) 多様な手法を活用した環境配慮の推進
- (4) 環境との共生を基本とした生物多様性の保全
- (5) 地域の風土や文化的遺産の活用
- (6) 公平な負担分担を基調とした健全な循環型社会の構築
- (7) 環境面の効率性が組み込まれた経済社会活動の促進
- (8) 各主体の自主的な取組と連携の推進

県民・民間団体・事業者・行政の各主体が、自らの行動が環境にどのような影響を与え、環境保全のためにどのような行動が期待されているかを具体的に認識することが求められています。環境教育・環境学習を一層推進するとともに、情報共有化による共通認識の醸成、各主体の参画と相互の連携の促進を図るための施策を進めます。

な～らちゃん  
(奈良県エコキャラクター)



## 自然体験教室のお知らせ

デイキャンプ「春のあったか料理」のご案内

場 所：奈良市青少年野外活動センター

日 時：3月20日(水) 10時～15時

内 容：自作の菜種油で野草の天ぷら&こだわりにゅう麺

ネイチャーふれあいゲーム色々

参加費：1人1,000円(食材・施設使用料・保険料他) 幼稚園以下1人500円

持ち物：エプロン・お茶・雨具・軍手・ふきん・野外活動に適した服装



## エコな～らライフ宣言

今年も、エコな～らライフ宣言の募集を開始します。

今年も是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信(0742-22-1668)
2. 宣言 web サイトから宣言

(<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>)

※平成25年4月6日(土)7日(日)の第15回奈良県環境フェアにもチラシの用意をしています。



## 第15回奈良県環境フェア

～第10回奈良県“暮らし”と“環境”フェスティバル～

日時：平成25年4月6日(土) 10時00分～17時00分 7日(日) 10時00分～16時00分

場所：奈良県文化会館(環境フェアは2F小ホール)

内容：ブース出展(エネルギー分科会、資源活用分科会、エコライフ分科会、奈良県地球温暖化防止推進センター等による環境保全活動事例紹介やパネル展示等)

体験コーナー(アクリルタワシづくり、手作り風力発電、ゲームなど)

おもちゃ病院

問い合わせ先：奈良県環境フェア実行委員会(奈良県環境県民フォーラム)事務局

奈良県環境政策課内：0742-27-8732

## 平成25年度総会のお知らせ

日時：平成25年4月23日(火) 14時00分～17時00分

場所：奈良県文化会館 集会室A・B

## 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。

当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp

はじめまして、かつらぎ菜の花プロジェクトです。かつらぎ菜の花プロジェクトは、葛城市にあるNPO法人エコ葛城市民ネットワークの中に存在します。葛城市といってもご存知ない方のために、葛城市のことを少し説明します。葛城市は、平成16年に旧新庄町と旧當麻町が合併した市で、南阪奈道路の奈良県の玄関口となります。

NPO法人エコ葛城市民ネットワークは、葛城市が、平成22年2月にバイオマスタウン構想を公表したことを受けて、その一翼を担うべく設立したNPO法人です。当NPO法人は、3つの部会があります。生ごみを堆肥にするおひさま会と、廃食油の利活用として蓮花ちゃん石けんやエコキャンドルを作っている菜の花会リサイクル石けん工房と、菜の花を通して循環型社会を啓発するかつらぎ菜の花プロジェクトがあります。



かつらぎ菜の花プロジェクトがあります。

当NPO法人は、葛城市環境課と協働で年間を通していろいろな活動を行っています。

主な行事としましては、おひさま会が作るおひさま堆肥をアピールするための寄せ植えコンテストや緑のカーテンコンテストを開催しています。また、先月も、廃食油から作ったキャンドルを使ったキャンドルナイトの集い2012を開催しました。グラウンドいっぱいに約3,500個のエコキャンドルを並べ、幻想的な空間を提供することで、参加者にごみの減量、リサイクルそして、節電や地球温暖化防止を考えるきっかけづくりにと開催し、今年で2回目となりました。そして、かつらぎ菜の花プロジェクトは、平成22年の10月に約1.5反の菜の花の植え付けを初めて行い、その菜の花が満開

になる4月に第1回の菜の花まつりを開催しました。平成23年は、約5反の菜の花の植え付けをし、第2回の菜の花まつりを開催し、昨年よりたくさんの方に参加してもらうことが出来ました。

これからも、「環境にやさしい街、葛城市」をめざし、活動を進めていきますので、今後ともよろしくお願ひします。

(葛城市NPO法人エコ葛城市民ネットワーク)

## 平成24年度自然体験教室の報告 奈良自然観察会

### 矢田丘陵の休耕田で、生き物たちを観察しよう

平成24年11月25日(日)、矢田丘陵の休耕田で奈良自然観察会と奈良県環境フォーラム自然環境分科会の共催による自然体験教室が開催されました。参加者は30名で、子供たちも10名参加してくれました。近鉄萩の台駅前を出発、落ち葉がたっぷりの遊歩道を歩きながら、途中たくさんの生き物たちに出会いました。久しぶりの乙田休耕田は、まわりの黄葉に包まれて静かに私たちを迎えてくれました。今年はドングリの実が不作の年だったのかな?丘陵の尾根筋にある休憩所で昼食を取り、展望台からの眺めを楽しみました。遠く、大台や大峰、和泉山脈、そして、北は北摂の山々がきれいに見渡せました。楽しい一日でした。



休耕田で一休み

## 自然環境セミナーのお知らせ

### 自然環境セミナーのお知らせ

「講演会&春日山原始林ツアー」共に参加費が必要です。くわしくは、環境県民フォーラム事務局にお問い合わせください。または「アースデイ奈良2013」のHPをご覧ください。

講演会：平成25年4月20日夕刻「いのち育む大地の恵み」講師、中東弘枚岡神社宮司

場所：奈良ロイヤルホテル

ツアー：平成25年4月21日(日)9時~12時の予定

集合：春日大社表参道バス停 解散、アースデイ奈良会場

コース：滝坂の道に沿って春日山原始林を観察 します。



遊歩道での観察

若草山のニホンジカ  
春日山原始林にも影響か?



## エネルギー分科会

### エコな～らライフ宣言 植樹ツアーを実施しました！！

去る平成24年10月28日（日）、奈良県立野外活動センターにおいて平成24年度奈良県環境県民フォーラム事業の「植樹バスツアー」を実施しました。この事業は「エコな～らライフ宣言」をしていただいた県民の皆様の宣言量（CO2削減量）に応じて植樹を行っているものです。今年度は、アジサイとサザンカを計21本の苗木を植樹することとしました。



宣言された方々に「植樹バスツアー」をご案内し、応募があった方々と事務局あわせて21名で、貸切バスにてJR奈良駅、近鉄奈良駅を出発し、奈良県立野外活動センターに向かいました。

野外活動センターでは、奈良県環境県民フォーラムの松村代表のご挨拶の後、スコップやくわを手に植樹を開始。小雨の降る中でしたが、腐葉土を混ぜながら参加者全員で手分けし、楽しく植樹を行ないました。雨のおかげで土も掘り易く、植樹後の水やりも省けて、植樹日和？だったような気がします。

次は、本館に移ってクラフト作りに挑戦。参加者の皆さんは木の小枝、松ぼっくり、木の実を巧みに組み合わせ、それぞれ個性豊かな作品を作っていました。昼食時間になっているのも忘れて夢中で行なっている方もいらっしゃいました。

そして、いよいよ昼食。各自が持参した弁当に加え、野外活動センターからそうめんを提供いただき、「にゅうめん」を作って野外活動センターのスタッフの方々も一緒にいただきました。温かい「にゅうめん」は好評で完食となりました。

午後からは、メイン行事？の「バームクーヘン作り」です。

太さ3cm くらいの竹に生地を塗りつけ、炭火にかざしてクルクルと回しながら、焼ければ、また生地を塗って炭火にかざしを繰り返す、オリジナルのバームクーヘンが出来上がりました。味はもちろん最高でした。

秋の一日を楽しく、有意義に過ごすことが出来、参加者からも「また来年も参加したい」とのお声が多く上がっていました。参加された皆さんお疲れさまでした。



### エコクッキング教室開催 鍋帽子で手軽にエコ



1月16日（水）に「奈良友の家」で、エコについてのお話と鍋帽子を使った料理実習を行いました。エコについてのお話と料理実習の講師を、「奈良友の会」の皆さんにお願いし、会場も「奈良友の家」をお借りして開催させていただき、18名の参加でした。エコについての話では、家庭で意外と電気が使われている冷蔵庫の節電について講義していただきました。冷蔵庫の製造年別の機種調べの結果を紹介いただき、10年前の機種に比べて半分以下に消費電力が減っていることや「詰め込まない」「ドアの開閉は最小限に」など使い方による省エネのコツも紹介いただきました。調理実習では、とりハムと温野菜添え、クリームシチュー

などを作りました。鍋帽子による調理は、沸騰させて5分から10分煮た鍋をコンロから下ろし、鍋帽子をかぶせて保温しながら煮込んでいきます。鍋帽子のおかげで料理は熱々で、シチューもしっかり煮込まれていて、大変おいしくいただくことができました。

鍋帽子は、ほんとに省エネでCO2削減に役立ちます。また温めている時間に他の作業もできるので重宝ですよ。皆さん是非試してみてください。（男性の方のご参加も歓迎しています。）

## 資源活用分科会

資源活用分科会では「環境にやさしい買い物キャンペーンの推進」、「エコ見学会の実施」、「修理屋リストの完成」を目標に活動してきました。

1月に実施したビックエクストラ大安寺での「環境にやさしい買い物キャンペーン」では、奈良市地温対協協会との協働で、レジ袋削減啓発パネル2枚を展示して、準備していた220枚全てのチラシ、マイバッグを配付しました。お客さんの反応も良く、結構な効果が出ていたことが実感できました。

1月に実施した「エコ見学会」では八尾市のリサイクルセンターを見学させて頂き、ここでは焼却、埋立て以外の資源ゴミを受入れており、最新式の破砕機、磁力選別機、自動色選別機、篩選別機と人力の手選別を組み合わせた処理をしていました。その他にも3ヶ月に1回の大気測定や構内での不用品のバザー、3R学習も行われているとのことでした。また平成23年度から継続して作成していた「市ごとの修理屋リスト」が完成し、充実した活動になった1年となりました。



佐藤薬品工業(株) 森田勇人

佐藤薬品工業(株) 森田勇人

## 奈良県環境県民フォーラム・自然環境分科会 2013年3月

### やまと菜の花ねっと

菜の花だより いわ たるみ も い  
石ばしる 垂水の上の さわらびの 萌え出づる春に なりにけるかも

菜の花も萌え出づる季節となってまいりました。国造りの始まった「やまと」の地で、持続可能な循環型社会とは何なのかを自問しながら、子どももお年寄りも皆が幸せに暮らし、奈良を訪れた観光客がホッとしたり元気をもらったりできるような、「人・自然・歴史が調和した街づくり」を『やまと菜の花ねっと』の皆さんと一緒に推し進めたいと思います。(黒飛)



**自然環境分科会主催：自然環境セミナー（菜の花交流会）** 「菜の花で元気なまちづくり」と題したセミナーを9月16日、奈良市生涯学習センターにおいて開催しました。県内で菜の花栽培に関わる10団体と関係者約100名が一堂に会し、今後『やまと菜の花ねっと』を大切に育てていくことを確認し合うキックオフ大会となりました。第一部は、奈良県初の統一ブランド菜種油を使用した天ぷらやドレッシングの試食会、第二部は伊賀市農林振興課小林氏による講演会、第三部は各フィールドの事例紹介を行いました。講演会では第六次産業の成功事例やソーシャルビジネスの話など、まさにタイムリーでためになる講演内容でした。どうか『やまと菜の花ねっと』を応援ください。(黒飛)

### 自然環境セミナー「菜の花で元気なまちづくり」

講師の小林康志氏(写真左)と松村座長

奈良フィールド(北永井7a、佐保山7a) NPO法人宙塾 Email: [ohzorajuku@gmail.com](mailto:ohzorajuku@gmail.com) FAX: 0742-93-4785

菜の花祭り 佐保山フィールド 平成25年4月13日(土) 10:00~12:00

北永井フィールド 平成25年4月14日(日) 10:00~14:30



今年もESD(持続発展学習)・世界遺産学習として、奈良市地球温暖化対策地域協議会(ならエコ・エコの和NEW)の環境教育プロジェクトの一環で、奈良市内の幼稚園・小学校8校と2フィールドで菜の花栽培及び環境学習を行いました。今年には市民便りで菜の花ボランティアを募集し5名の応募がありました。みなさん大活躍です。またNPO法人ナルク奈良も多大な応援をして頂きました。9/12 鼓阪幼・小、10/19 鼓阪北小、今年1/19 六条幼が東大寺へ、11/16 鼓阪北小が春日大社へ、それぞれに菜種油を奉納。また、昨年10月に鼓阪北小学校がユネスコスクールの認証を受けました。当校HPでは取り組みを英語でも紹介しています。ご覧ください。(黒飛)

葛城フィールド 200a かつらぎ菜の花プロジェクト 菜の花祭り実行委員会事務局（葛城市環境課内）0745-69-3001

菜の花祭りアースデー in かつらぎ 葛城市中央公民館 平成25年4月13日（土）10:00～15:00



上：蓮花ちゃんとウォーク  
左：菜の花の前でブランコ

「第3回 菜の花まつりアースデー in かつらぎ」  
4月13日（土）、葛城市中央公民館と菜の花畑において開催します。菜の花ウォーキング、フリーマーケット、ワークショップ、活動発表、環境パネル展など楽しい催しがいっぱいです。かつらぎグルメもたくさん。是非お越しください。（竹内）

桜井フィールド 200a NPO 法人さくらい菜の花プロジェクト 問合せ 090-1913-5382 森本（代表）

菜の花祭り 花・花フェスタ in 狛・岩坂 平成25年4月7日 11:00～13:30



NPO 法人さくらい菜の花プロジェクトは、環境を足元から見直し、「循環型社会の構築と地域の活性化」を目指して、平成15年に菜の花栽培を始め、平成21年にNPO法人化しました。現在桜井市、狛・岩坂、高家、生田、外山地区で菜の花を栽培しており、昨年は「奈乃葉菜油」の県内統一ブランド化の実現に中心的働きをしました。油かすは肥料に、廃食油を石鹸や燃料にして利用しています。昨年の花・花フェスタでは400名の来場者がありました。今年もたくさんのご参加をお待ちしております。（森本）

御所フィールド 30a 管理：未来の環境を考える会 御所市環境政策課 TEL：0745-66-1087

菜の花祭り 檜原(九品寺)フィールド 平成25年4月13日 10:00～14:00



「未来の環境を考える会」では、市内檜原にて菜の花（ナタネ）を栽培し、収穫された種より油を絞り、またバイオディーゼル燃料として利用するため、使用済み食用油の回収活動をおこなっております。毎年「菜の花祭り」開催する御所市檜原フィールドは、葛城古道沿いの名刹九品寺の隣にあり、周囲を囲む葛城山の緑や田園と一体となった日本のふるさとそのものの風景をバックに菜の花を作付けした畑は春に一面の黄色い花が咲き乱れ、訪れる方々の目を楽しませています。また、九品寺は桜の名所でもあり、本年の菜の花祭りの開催予定時期は満開となることが予想されるため、一層素晴らしい景色に恵まれることとなると思います。（神谷）

田原本フィールド 12a 管理：NPO 法人ほっとねっと TEL/FAX：0742-94-6800 Email：npohotnet@yahoo.co.jp



今年度はナタネ刈取り後は大豆3種類、金ゴマ、ハトムギを栽培しました。大豆は苗植えから脱粒までを田原本北小学校5年生が体験しました。2月25日には、自分たちが収穫した大豆で味噌作りをしました。8か月後、6年の秋に、手作りの味噌で味噌汁をつくるの楽しみにしています。（寺前）

郡山フィールド 10a 管理：なら橋プロジェクト 連絡先 090-4676-6463（代表 城）

Email：Jyo5084@yahoo.co.jp



### 中ツ道(橋街道)に橋の並木をつくろう

昨年度に立ち上げられた「なら橋プロジェクト」では、すでに約250本の橋が、大和郡山市、奈良市、桜井市、葛城市などで植樹されました。近世には「橋街道」とも呼ばれた「中ツ道」は、平城京と藤原京の東の端を結び、さらに明日香村の橋寺にいたる旧官道です。一昨年从天理市喜殿町で発掘調査が行われ、幅23mの道の遺構が発見されました。その旧中ツ道沿いに橋を植えようと、3月3日には、関係者約50人が集い（郡山市長も参加）、大和郡山市白土町付近で橋の苗の植樹式を行いました。観光・第六次産業の振興をも視野に入れた壮大なプロジェクトを応援ください。現在「橋オーナー」、「会員」を募集しております。（城）



その他 天理フィールド・明日香村フィールド ネットワークとして連携しており、菜の花を栽培しておりますが、今回は花祭り等イベントの予定はありません。ならコープにはいろいろと協力・後方支援をさせていただいております。

